

平成26年度事業報告書

社会福祉法人 田辺市社会福祉協議会

平成26年度、日本経済は穏やかな回復基調が続いていますが、消費税増税などの実施により、国民全体が景気回復を実感するには至らず、低所得者や失業者等への支援は依然として重要な課題となっています。

このような状況の中、地域においては、少子高齢化の急速な進展や住民相互のつながりの希薄化など地域社会を取り巻く環境の変化に伴い、社会的孤立や生活困窮をはじめとする深刻な福祉課題・生活課題など、これまでの社会福祉の枠組みだけでは対応することが困難な課題が顕在化しています。

本会は、これらの課題解決に向け、第2次地域福祉活動計画の3つの重点項目である「地域福祉を支え合える人づくり・つながりづくり」、「地域福祉を支え合えるしくみづくり」、「たなべあんしんネットワーク活動の推進」に基づき取り組みを進めました。地域のニーズを把握し、福祉人材の育成、相談支援体制の充実、小地域福祉活動や交流・啓発活動の推進など、限られた人員のなかで積極的な事業展開を行いました。

過去2年の決算においては、介護保険収入の大幅な減少や市からの補助金の減額などにより大変厳しい状況となっておりましたが、新規採用を控え、職員を効率的に配置するなど、職員一丸となって事業効率の追求と歳出削減による運営努力を続けた結果、平成26年度の決算は大幅に改善することができました。

法人運営では、新たな会計基準に則した経理規程を作成し、平成27年度に向けた会計移行を完了させ、会計の透明化を図るとともに運営基盤の強化に努めました。

介護保険制度の見直しや社会福祉法人改革など、社会福祉協議会にとって厳しい状況は続きますが、地域の方々に必要とされる社協として機能するよう、地域住民・行政と協働しながら、職員一人ひとりが使命感を持って地域福祉推進に取り組んでまいります。

本会に物心両面に亘り温かいご支援・ご協力を賜った各団体・施設をはじめ、多くの皆様にご報告させていただきます。

1、地域福祉を支え合える人づくり・つながりづくり

慢性的な人材不足に対して地域を支える福祉人材を育成するために、ホッと講座、いきいきシニアリーダーカレッジ、ボランティアスクール等各種研修会を開催しました。

紀南福祉人材バンクを基盤とした「福祉・介護人材マッチング支援事業」は6年間継続的に受託運営、最終年度として福祉職場への就労定着支援や人材確保に努めました。

また、イベントや福祉教育を通じ、福祉への関心を高め、理解を深めることができる支援を行なうことができました。

(1) 地域福祉・ボランティア活動等の支援と協働促進

① ボランティア育成の推進

(ア) ホッと講座の実施 (16回 延べ270人)

- (イ)いきいきシニアリーダーカレッジの開催（和歌山県社協、田辺市 共催）
 - ・支え合いコース（認知症・介護予防ケア）（10回 延べ171人）
 - ・まちづくりコース（生活支援・災害支援サポーター）（10回 延べ149人）
 - ・おもてなしコース（地域活性化とコミュニケーション）（10回 延べ368人）

(ウ)ボランティアスクール・各種ボランティア啓発講座の開催

- ・12講座 参加者延べ208人

②ボランティアセンター機能の充実強化

(ア)ボランティア登録、紹介と活動支援

- 登録者511人、紹介あつせん数 延べ1,306人
- その他のボランティア相談支援 合計184件

(イ)ボランティア保険加入促進

- ボランティア活動保険加入2,005人、ボランティア行事用保険16件、福祉サービス総合補償11件、サロン・社協行事保険32件（うち サロン保険15件）

(ウ)ボランティア連絡協議会活動の充実

(エ)機材の貸し出し・給食センター等の活用

- ・福祉用具（車椅子、ベッド、点字盤等）の貸し出し

(オ)災害時対策備品の管理・整備

- ・災害時対策備品（テント・スコップ・発電機等資器材）の保管・整備

(カ)災害ボランティアセンター設置マニュアルの整備・見直し

(キ)住民参加型在宅福祉サービスの活動支援

- ・田辺市ともしび友愛ヘルプの会の活動支援〈田辺地区〉
提供活動:2,896件 提供時間:4,435時間 利用会員76名 提供会員43名
- ・助け合い事業の運営〈大塔地区〉
家事援助38件、利用会員7人、協力会員3人

(2)福祉・介護人材の確保、定着促進

①求人求職者の登録と就職あつせん（福祉人材無料職業紹介事業の実施）

- ・求人相談件数 443件、新規求人数 1,322人
- ・求職相談件数 1898件、新規求職者数 513人
- ・紹介数 215人 就職数 110人

(ア)新規求人の開拓

- ・事業所を計46ヶ所訪問

(イ)福祉のしごと移動相談

- ・紀南エリアで計19回実施

(ウ)近畿各府県福祉人材センター就職相談会への参加

②福祉・介護職場就職面接会・フェアの実施

(ア)福祉・介護のしごとフェア（7月6日、2月1日 年2回開催：田辺市）

- 福祉施設・事業所と福祉職場に就職を希望する方々と直接面談する場、資格取得に関する相談コーナー等を設け、福祉職場への就労支援や人材確保を図りました。

- ・来場者 計207人、参加施設 計70施設、内定者 計27人

(イ)福祉・介護のしごと面接会の実施（11月16日 年1回開催：新宮市）

・来場者 計 8 人、参加施設 11 施設、内定者 3 人

③福祉・介護の仕事の広報・啓発

(ア)求職者スキルアップ講座の実施

・「福祉のしごと塾」の開催

福祉の資格取得（介護支援専門員、介護福祉士、社会福祉士）を目指している方を対象に受験対策講座を実施し、福祉人材の育成を図りました。

*介護支援専門員受験準備講座 8回 参加者 37人

*介護福祉士受験準備講座 4回 参加者 33人

*社会福祉士受験準備講座 2回 参加者 7人

(イ)福祉のしごと入門・スキルアップセミナー及び高校生対象ガイダンスの開催

福祉職場に就職を希望する方々や関心のある方を対象に、各種セミナーやガイダンスを開催し、効果的な就職活動ができるよう支援しました。（計 3 回開催）

(ウ)福祉施設見学会及び職場体験の実施

福祉施設の管理者等が、“魅力ある職場づくり”を気づく機会として県外の福祉施設を見学しました。10月17日 参加者 11人 見学施設：社会福祉法人聖徳会 高齢者総合ケアセンターまつばら

また、高校生を対象に、福祉施設等の見学と職場体験を行い、福祉の仕事への理解と就労意欲を高めました。参加者 7人

(エ)福祉職場定着支援セミナーの実施

福祉職場に携わっている方々に、専門職として仕事に取り組む意識を高め、定着促進を支援しました。参加者 14人

(オ)福祉のしごとPRキャンペーンの実施 計 9 回実施

(カ)「介護の日」PRキャンペーンの実施 11月11日実施

(キ)学校訪問、学校の先輩によるミニ就職セミナーの実施

高校生に福祉・介護の仕事への関心を促すために、学校に出向き情報提供を行うつつ福祉の魅力伝える講座を開催しました。

・学校訪問 延べ 20 校 ・福祉のしごと出張講座 3 校

(ク)広報紙、パンフレット及び車輛用マグネットによる福祉・介護の仕事のPR

(3) 気づきと出会い、学びの場づくり

①福祉教育の推進

(ア)小中学校における福祉教育プログラム支援活動

当事者やボランティア、社協職員を福祉教育の講師として派遣しました。また、施設訪問のコーディネート、社協施設への受け入れを行いました。

支援件数 34校 120回（小学校 24校、中学校 8校、高校 2校）

(イ)福祉教育推進校連絡会の開催

7月29日 田辺市民総合センター

講義「知ってみよう・福祉のしごと」

講師 ユウガ訪問介護ステーション 管理者 玉田陽子

ふたば福祉会 理事長 米川 徳昭 参加者 43人

(ウ)小中学校向け福祉教育推進助成制度

・こどもボランティア推進事業助成

*26校(小学校21校、中学校5校)(1,270,000円)

- ②「明日へのかけ橋フォーラム」の開催(2月6日 ガーデンホテルハナヨ本館)
 - (ア)社会福祉功労者表彰式
 - (イ)地域福祉講演会「共生社会の推進～新しい地域支援のあり方を考える～」
講師 佛教大学 福祉教育開発センター 講師 金田喜弘氏 約200人来場
- ③「第21回ふれあい文化祭」の開催
2月7日～8日 ガーデンホテルハナヨアリーナ2日間 延べ来場者4,906人
市内約150福祉施設・学校による舞台発表や作品展示、模擬店
- ④地区別交流イベントへの参画
- ⑤市民福祉映画会の実施(市共同募金委員会、紀伊民報社 共催)
・12月13日 「燦・燦」上映 合計1,915枚販売

2、地域福祉を支え合えるしくみづくり

公的機関や専門職そして地域の様々な関係者ととともに、それぞれの役割を尊重しながら相談支援体制の強化並びに他の専門機関とのネットワークづくりに取り組みました。

また、広報紙はより分かりやすく、若い世代に向けて様々な媒体を活用し積極的に情報発信しました。

(1) 地域生活を支援する相談機能の充実と連携の促進

①福祉サービス利用援助事業の適正な運営

判断能力に不安があると感じている人を対象に、金銭管理や福祉サービスの利用に関する相談援助事業を実施しました。

新規契約者 7人(高齢者4人、障害者3人)

実利用者 59人(高齢者29人、障害者30人)

- ・福祉サービス利用援助事業新任及び継続生活支援員研修会(7/1・3/24)各1回
- ・福祉サービス利用援助事業専門員研修会(8/8・3/24)計2回

②成年後見支援への取り組み

成年後見制度についての相談に応じ、判断能力が十分でない方を対象に法人として後見人を受任し、身上配慮や財産管理の支援を行いました。

(ア)受任件数 2件(高齢者・障害者)

(イ)研修会への参加

- ・社会貢献型後見人養成講座(基礎編)(8/28・9/9)・成年後見制度市町村等担当者説明会(3/13)・法人後見レベルアップ研修会(3/18)

③生活福祉資金貸付事業の適正な運営

他制度で融資を受けることが困難な低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯を対象に生活福祉資金の相談対応を行いました。生活福祉資金相談体制整備事業は4年間継続して受託運営を行い、相談員を設置することにより貸付・償還活動を強化しました。

また、新たに施行される生活困窮者自立支援事業の受託運営に向けて各種研修会に参加しました。

- ・相談件数 実人数 79件 延べ 129件
- ・新規貸付数 5件
- ・償還指導回数 256回

- ・近畿ブロック生活困窮者自立促進支援モデル事業情報交換会(6月2日)、生活困窮者自立支援にかかる多重債務問題等説明会(6月20日)

④障害児者相談支援事業の充実強化

ふたば福祉会、やおき福祉会、県福祉事業団と当社協の4法人による障害児・者相談支援センター「ゆめふる」で、就労から生活全般にわたる相談援助を行いました。

(ア)基幹相談支援センター等機能強化事業の受託運営

当社協が基幹相談支援センター等機能強化事業を受託し、西牟婁圏域における相談支援事業の機能強化に取り組みました。

- ・西牟婁圏域自立支援協議会

事務局会議 計22回、定例会 計5回、全体会 計2回

相談支援専門員・フォローアップ研修 計5回

- ・個別相談活動(福祉サービスの調整、情報提供等) 合計2,812件

- ・自立生活プログラム(料理教室・クラフト教室・フラワーアレンジ等)の実施

*計26回 延べ238人参加

(イ)一般及び特定相談支援事業の実施

障害者支援施設や精神科病院等からの地域移行・地域定着に向けた取り組みやサービス等利用計画の作成に取り組みました。

*サービス等利用計画 90件 サービス等利用計画の見直し(モニタリング) 35件

(2) 地域福祉・ボランティアの情報を分かりやすく伝える取り組み

- ・広報の充実

(ア)広報「福祉日和」の発行(年11回)

・年11回発行(11・12月合併号) 35,050部/回

(イ)点字・朗読サービスの実施

(ウ)ホームページ・ケーブルテレビ・ラジオ等の広報媒体活用

(エ)ふれあいいいきいきサロン・介護予防教室等との連携

(3) 地域福祉を支える基盤

- ・福祉委員研修会～地域福祉フォーラムの実施

*9月20日 場所:ビッグ・U 1階多目的ホール

第一部 創作劇「クラスメイト夢太郎」

・劇団ムゲンノカノウセイ

第二部 「ひきこもり支援から見えた地域福祉の可能性」

～ひきこもり者の力を地域づくり～

秋田県藤里町社会福祉協議会

常務理事 菊池まゆみ氏 約600人参加

3、たなべあんしんネットワーク活動の推進

田辺市地域福祉計画と連携し、各々の地域課題に対して住民主体の地域福祉活動である「あんしんネットワーク活動」を継続して取り組みました

また、災害時の支援体制づくりについては、小地域の取り組みを軸に広域にわたる連携事業を通じて協力・支援体制の強化に努めました。

(1) 地区別あんしんネットワーク活動(小地域福祉活動)

①地域性を重視した小地域福祉事業の実施

- ・ひとり暮らし高齢者のつどい・重度障害者福祉タクシー券交付事業
- ・ボランティア温泉宅配事業　・ふれあい型配食サービス事業
- ・福祉用具リサイクル事業　　・介護用品あっせん
- ・ふれあい訪問事業　　　　　・霊柩車の運行（火葬送迎）
- ・障がい者ふれあいバスツアー・愛の日事業

②地域福祉活動推進にかかる各種助成制度

- ・地域福祉活動推進助成　29件(1,286,613円)
- ・福祉団体等活動助成　16団体(2,031,000円)

(2) 見守り・声かけ及び交流活動の実施

①あんしん見守り運動

(ア)見守り支援活動

- ・緊急連絡カード等の配布・ふれあい配食サービス・温泉宅配サービス
- ・愛の給食・手作り味噌等の配布・高齢者訪問

(イ)ふれあいいきいきサロン活動

(ウ)子育て世代の交流支援

ベビーマッサージとママサロンの実施、ちびっこあつまれ（子どもまつり）の開催、子育てサークル「ほっとスペース」活動支援、世代間交流

②常設型地域リビング（住民活動交流拠点）の充実と連携

(ア)常設型地域リビングの充実～よりみちサロンいおり

- ・開館日数　341日　利用者数　8,384人（1日あたり24.6人）
- ・行事内容）ホッと講座(16回、延べ270人)、いきいきシニアカレッジ（3コース　各10回　延べ688人）、放課後しゅくだいくらぶ(37回　延べ342人)、がんのきょうしつ（毎週木曜日）、エンディングノート教室（毎週日曜日）、福祉なんでも相談、福祉のしごと塾、福祉のしごと相談等
- ・しゅういちきっさ～NPOハートツリーとの連携

(イ)巡回型地域リビングの運営

- ・地区別介護予防教室等　99ヶ所
- ・福祉なんでも相談の実施

(3) 要援護者支援対策の推進～災害時等相互支援事業～

①緊急連絡カードの配布（再掲）～市・民児協・自主防災会等と連携

②自主防災会組織運営助成制度　助成金交付決定数　2件

③要援護者避難・生活支援訓練の実施

8月2日、10月19日　災害対策本部設置運営訓練への参画　三四六ごみ処理庁舎
1月24日　災害時相互支援訓練（中辺路地区）

中辺路保健福祉センター　参加者60人

④県社協災害時ワークキャンプへの参画

3月4日　県災害ボランティアセンター・災害時対応訓練への参加　参加者1人

⑤第6回田辺西牟婁ユニバーサルキャンプの実施(田辺・西牟婁4社協協働事業)

9月6日 上富田町文化会館 参加者27人 スタッフ26人

4、介護保険・障害福祉サービス事業等の経営・運営

介護保険事業では、制度改正による影響や近年の小規模施設等の増加に伴う利用者の減少により、厳しい経営状況が続いていましたが、平成26年度決算では、体制のスリム化による人件費の削減や事業内容の見直し等により大幅に改善することができました。

訪問看護事業では、中辺路地区にサテライト事業所を新設し、活動地域を拡大して利用者の要望に応えました。また、介護職員処遇改善事業を利用して職員の賃金改善を行うとともに、職員の知識や専門性を高めるための研修等にも積極的に参加しました。

(1) 居宅介護支援事業 (全地区実施)

利用者からの相談や意向に基づき、介護サービス等を適切に利用できるように事業者や関係機関との連携を図りました。また、田辺市地域包括支援センターより介護予防支援業務の一部委託を受け、介護予防サービス計画等を作成しました。

- ・ 居宅介護支援事業 延べ人数 4,589人
- ・ 介護予防支援業務 延べ人数 1,353人

(2) 訪問介護・介護予防訪問介護事業 (全地区実施)

在宅の要支援・要介護高齢者等を対象に、障害者総合支援法による居宅介護等を含む、生活援助や身体介護等のサービスを提供しました。

田辺市より委託を受け、養育支援訪問事業、生活管理指導員派遣事業、障害者移動支援事業、視覚障害者代読・代筆奉仕員派遣事業を実施しました。

- ・ 訪問介護事業 実人数 1,963人 延べ人数 38,292人
- ・ 介護予防訪問介護 実人数 1,657人 延べ人数 11,269人
- ・ 介護タクシー事業(本宮) 実人数 54人 延べ人数 110人
- ・ 居宅介護事業 実人数 604人 延べ人数 4,659人
- ・ 同行援護事業 実人数 129人 延べ人数 977人
- ・ 養育支援訪問事業 実人数 64人 延べ人数 323人
- ・ 生活管理指導員派遣事業 実人数 117人 延べ人数 467人
- ・ 障害者移動支援事業 実人数 12人 延べ人数 44人
- ・ 代読・代筆奉仕員派遣事業 実人数 72人 延べ人数 478人

(3) 通所介護・介護予防通所介護事業 (田辺・龍神・大塔・中辺路地区実施)

利用者の心身機能の維持向上や社会参加の機会を提供すると共に、介護者の負担の軽減を図ることを目的として通所による介護サービスを実施しました。また、田辺市より委託を受け、障害者日中一時支援事業を実施しました。

- ・ 通所介護事業 実人数 1,538人 延べ人数 12,751人
- ・ 介護予防通所介護 実人数 847人 延べ人数 4,686人
- ・ 障害者日中一時支援事業
(デイサービス) 実人数 35人 延べ人数 231人

(4) 訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護事業 (田辺・大塔地区実施)

自宅での入浴やデイサービスの利用が困難な状態にある利用者等を対象に移動入浴車による入浴サービス事業を実施しました。また、田辺市より委託を受け、身体障害者訪問入浴サービス事業を実施しました。

・ 訪問入浴介護事業	実人数	624 人	延べ人数	2,570 人
・ 介護予防訪問入浴介護	実人数	12 人	延べ人数	57 人
・ 身体障害者訪問入浴サービス事業	実人数	24 人	延べ人数	188 人

(5) 訪問看護・介護予防訪問看護事業 (龍神・<中辺路サテライト>地区実施)

在宅療養中の高齢者等を対象に、各主治医の指示のもと、本人の状態に応じた看護を提供し、介護と医療の両面から在宅療養者を支援しました。また、平成 26 年度から中辺路地区にサテライト事業所を新設し、中辺路・大塔・本宮等への効率的な活動に努めました。

・ 訪問看護事業	実人数	230 人	延べ人数	1,153 人
・ 介護予防訪問看護	実人数	17 人	延べ人数	62 人
・ 訪問看護事業 (医療)	実人数	58 人	延べ人数	422 人

5、受託事業の運営

田辺市からの受託事業は、全地区で実施する介護予防事業を中心に取り組みました。

本宮地区では新たに在宅介護支援センターを受託し、高齢者の実態把握に努め、必要なサービスへの連携を図りました。その他各事業の実施においても田辺市や各関係機関と協力し、地域住民の理解・協力を得、事業を展開しました。

(1) 介護予防事業 (全地区実施)

一次予防介護予防普及啓発事業は、高齢者等が在宅で自立した生活を継続できるように地域の集会所等において、集団での運動プログラムや啓発等を実施しました。また、二次予防通所型介護予防事業では、個別の介護予防プランに基づき、介護予防体操や口腔・栄養改善等のサービスを提供しました。

・ 一次予防介護予防普及啓発事業	503 回			
・ 二次予防通所型介護予防事業	実人数	1,106 人	延べ人数	4,093 人

(2) 配食サービス事業 (龍神・中辺路・本宮地区実施)

食の自立支援と、高齢者への声掛けや安否確認を目的に実施しました。

・ 配食サービス事業	実人数	643 人	延べ人数	6,358 人
------------	-----	-------	------	---------

(3) 保育所給食事業 (本宮地区実施)

本宮地区の「たんぼぼ・ひまわり」両保育所へ給食を届けました。

・ 保育所給食事業	実人数	576 人	延べ人数	11,229 人
-----------	-----	-------	------	----------

(4) 外出支援事業 (龍神・大塔地区実施)

公共交通機関の利用が困難な高齢者等に、地域の医療機関への通院を支援しました。

・外出支援事業 実人数 420人 延べ人数 515人

(5) 高齢者生活支援ハウス運営事業 (龍神・大塔・本宮地区実施)

自宅での生活に不安を抱える高齢者に安心して過ごせる居住の場所を提供しました。

・生活支援ハウス運営事業 平成26年度末 入居者数 44人 (5施設)

(6) 在宅介護支援センター運営事業 (龍神・本宮地区実施)

地域の高齢者の生活状況の把握に努め、必要に応じて保健福祉サービス利用の調整等を行いました。本宮地区では、平成26年度から新規事業として取組み、各地域の高齢者宅を訪問して状況の把握に努めました。

・在宅介護支援センター運営事業 実態把握調査 1,488件 相談件数 245件
介護予防教室 146回

(7) 老人憩いの家管理運営事業 (田辺地区) 及びうらら館管理運営事業 (本宮地区)

老人憩いの家管理運営事業は、指定管理者として旧田辺地区の「松風荘」「やすらぎ荘」において、うらら館管理運営事業は、本宮地区において運営し、共に地域住民の交流や趣味活動など集いの場を提供しました。

・老人憩いの家管理運営事業 延べ人数 56,031人

・うらら館管理運営事業 延べ人数 21,967人

6、法人運営・基盤の強化

平成27年度から始まる新会計基準に基づく実務に備え、職員研修や経理規程の整備を行い、新しいシステムへの移行を完了させました。

社会福祉法人に求められる事業運営の透明性の確保を行うと同時に、地域において信頼される法人としての役割を果たすため、職員体制の見直しや事業運営を精査・改善しながら、継続的で安定的な経営ができるよう取り組みました。

(1) 法人運営体制の充実と強化

理事会 (3回)、評議員会 (3回)、正副会長会議 (8回)、監事の業務監査 (1回)、地区運営委員会 (龍神3回、中辺路4回、大塔3回、本宮3回) を開催し、法人の健全な運営・地域福祉の推進に努めました。

役職員による各種研修会等への参加促進により、法人の円滑な運営と体制強化に努めました。

*和歌山県地域福祉推進フォーラム及び市町村社協役職員研修会 (2月26日)

役職員 10名参加

(2) 財政基盤及び管理の強化

会員の加入促進や寄付金、善意銀行預託金などの貴重な浄財を受け入れるとともに住民の善意である福祉基金を国債等の安全・確実な有価証券として管理し、その運用益を広く地域福祉の推進に活用しました。

*会員会費 9,391,360円 (一般・団体・特別・法人会員計)

- *一般寄付金 7,865,148 円 (190 件)
- *善意銀行預託金 210,000 円 (25 件)
- *福祉基金運用益による地域福祉事業還元額 4,158,000 円

(3) 職員の専門性の向上と働きやすい職場づくり

外部研修への積極的な参加や、地区別・職種別に各種内部研修を企画し、職員の専門性の向上に努めました。

また、「職場における心の健康づくり計画」に基づくメンタルヘルス対策や、「一般事業主行動計画」の進行管理など、健全な職場環境の保持に取り組みました。

*研修回数 (内部研修 32 回・外部研修 178 回) 計 210 回

参加延べ人数 991 名

*メンタルヘルスセルフケア、リスクマネジメント、職業倫理、介護技術、福祉サービス苦情解決、障害及び各種疾患理解、交通安全対策等

(4) 社会福祉功労者の表彰

平成 27 年 2 月 6 日、明日へのかけ橋フォーラムを開催し、第一部 社会福祉功労者表彰式において、永年地域福祉活動に寄与貢献され、その功績が顕著であった方々に表彰・感謝状を贈りました。

*表彰個人の部 2 人

*表彰団体の部 1 団体

*感謝個人の部 4 人